



週要報

總統問題と張内閣

張内閣事情と總統問題の急進

張紹曾内閣總理の同意案は衆議院に提議して二回議決となり、形勢頗る住ならざるものありしが、吳景濂の同意案請負の語は已に成算ありしもの、如く、本月十八日の衆議院第三回目の開會によりて、始めて通過し、一段の難關は已に過ぎ、更らに一段の難關は衆議院の通過に在り、然れども大勢は衆議院方面の通過も亦難關ならざるに似たり何ぞなれば多數の議員は已に保定派の同意不同意を以て彼等の同意不同意の標準とし、一に保定の鼻息により決する迄に軟化し居ればなり、而かも保定派の張内閣に對する態度を窺ふに、江蘇督軍齊燮元、馮玉祥、馮國璋あり已に保定派と張内閣の間を疏通し、反對せざることに決し總統問題を以て交換條件とし、雙方承諾したりと傳へらるゝに至つては、張内閣の成立は意中在りて云ふべく、記者は衆議院通過の模様を叙せざるべからず

態度を以て懇切なる演説を試みたるが、述べし意見は五項に分けたり(一)國會に對しては法統を擁護し憲法を促進するの精神を以てし、力めて政府と國會往來の隔膜せる積弊を除く(二)各省に對しては公平の待遇を採り、即ち獨立各省も亦其革新政治の意見を容納し平和方法を以て統一を促成するを期す(三)軍事に對しては一南北共同の最高軍事會議を組織し、以て收束を謀る(四)財政に對しては收支の標準を確立し、軍政各費を節減し、治標の方法とし、各内債を清理し治本方法と爲す(五)外交に對しては博愛を以て體面を以て用ひ、力めて排甲親乙の狹隘主義を矯むと云ひ、個人將來の進退は以上の政見の實に否とを以て標準とすこと述べたるが、各派議員は此口頭の大政方針を聽き満足の見受けられざるも、孫洪伊の王某は張君云ふ所は同人の満足する所なり、當然賛成すべきなりと云ひ、張伯烈温世霖等相繼いで演説し、大に鼓吹し、今日午後投票通過を希望すと云へ

レより午後二時の同意案提議となりしが、當日列席せるもの四百五十七人の多きに達し、場中の秩序は員は四百餘人に達したが、孫文孫洪伊派の議員は之に預かりし者少なりと云ふ、當日張紹曾は和霽の總統にして法律上に在りては根據なき、其生みし内閣も亦法に合せず、本席は議事日程を變更し先づ總統問題を決せんことを求め主張せり、之に對し吳景濂は王議員に賛成する者は起立せんことを求め起立せるも是の僅かに二十七人なりしかば否決されたり、次に吳代表陳漢祥に對し張紹曾の歴史説明及總統提議の理由を請ひ、之が終りに開票検査員八人を定め、投票の結果票數四百五十五票中同意票三百九十二票あり張總理案は大多數を以て通過し、吳景濂の買収は成功し欣然として散會を宣布せり、時に午後三時四十分なり

如上一議院の通過事情なるが、參議院に投票を肯んせず、黎元洪は特に代理を延期せんことを請ひ王は已に承諾し、張紹曾は署理の處に在りて、年月且よ成就すべしと傳へらるゝが又參議院は議長及臨時主席に就き依然爭議中在りて來週水曜日開始して議案に上ばるること、なるべしと報せらる、參議院は此の如くして問題は議員の顔振れに就き保定派の態度を確めざるべからずと打合せしつゝありて、本月二十一日の北京電報は左の如く報せり張紹曾は胞弟と陸錦、劉思源を遣

はし十九日同し夜車て保定に赴き閣員名簿を携へ達示を求め廿一日夜歸京する事とせり内外交三部は保定派とし毎部二人を充て曹の定を請ひ内務は高凌霨屈映光を列し財政は李士偉、楊善曾、交通は吳毓麟、劉恩源とせり張紹曾の歸來談によれば曹は閣員に對し積極的表示なしに對し張紹曾の歴史説明及總統提議の理由を請ひ、之が終りに開票検査員八人を定め、投票の結果票數四百五十五票中同意票三百九十二票あり張總理案は大多數を以て通過し、吳景濂の買収は成功し欣然として散會を宣布せり、時に午後三時四十分なり

議員請願二一件

旅大同回民族自決の請願 國會議員李燮陽等は政府は速に明年三月旅順大連を回收すべき理由を爲すことの大議案を提出したり其理由に曰く旅順大連は前清未露國に占領されし後日本の占領する所となれば是れは皆國民の日本の強要故に袁氏而して訂結せる條約は二十五年に一條に近頃既に國會に否認せられたり支那の約法に條約は國會の同意

一週一言

己むを得ざる犠牲 支那共管説頗るなり、此説は一種の宣傳策にして、各方面に利用せらる、不祥の宣傳にして不祥の利用す、利用せん、するも能はざる時は支那各縣に患亂の波及せる際産せしか、患亂も現在登場人物を際産せしは又己むを得ざる犠牲にあらざるか

を經べき明文あり、今既に國會に否決せられたれ、政府は自此決議に根據して正式に列強に向つて該協約無効を宣言すべし、且一面日本に向つて嚴重に交渉し、如く旅順大連を回收し以て領土を完ふして國基を固めよ特に法に依りて建議を提出す云々 特別區及西藏蒙古選出の議員と云ふも要するに約法規定の人數を充たす爲の便宜手段行はれる結果更に該地方の便も又該地の土地を踏査せし事なき人々が堂々其地方代表の名を野居れる昨今等哈爾熱河士や一部野心家によりて察哈爾熱河綏遠の三時特別區を省制に改めんとす運動頗る行はれ居り茲に注意すべきは該地住民が却て其特別區制を廢して本來の内蒙古を合し中華民族の一部としての蒙古自治即ち平和的民族自決、活動を開始したるごも、之に對し免も角石の目的を以て三區の代表として旺達克布坦等來京十二日議會に對し特別區廢止蒙古合歸の請願書を提出したり其主眼の大意即ち左 如し 民國と改まつて既に十一年年兵變絶えず統一の漢族以て尙四分五裂此の如し而も更に他族を統一せんは知るべしそ紛擾の原は推するに一切、權利の不公平に歸す即ち之が爲め外蒙、幸に收回し難く西藏、獨立せるなり

Financial advertisements including The Bank of Chosen, 朝鮮銀行, and 住友銀行. Includes details about capital, branches, and contact information.

蒙古獨立援助宣言

露國ソビエト憲法會議の共產黨は本月十日左の如き宣言を發表せりと云ふ

(一)革命の色彩を帯ぶ無産階級は將に破滅せんとする有産階級と舊國の結果無産階級の勝利となりし今露國無産階級は又支那の祖國によりて反つて共產黨として進退谷まる境地に陥れたるを以て無産階級の意志を代表する全露共產黨は露國支那政府の主義の衝突が實に除くべき必要あるを以て遂に屢々支那政府に向つて嚴切の警告をなしたるに支那政府は之を顧みざるを以て無産階級の意志を代表する全露國共產黨は支那の現狀實にソビエト共和國の前途に大に妨礙あるものと認め本國の地位と支那との相互關係に鑑み即ち進んで庫倫を支那政府に引渡すべからざることを力主し且蒙古の勞農獨立國家を建設することに賛成し以て勞農露國主權の信賴するべき緩衝國を保障す是が爲め蒙古勞農共和國の成立は本黨絕對に主張する處にして斷じて勞農露國に反對する者の根據地となす

露國共產黨 武力主義

(一)私人財產制度を維持す、但し政府は制限法を設け勞農階級の利益を保護す(二)消費組合、農事生産組織及び無産階級の設立を提唱す(三)國家管理下の私人資本と私人企業を採用す(四)消費組合も亦國家より管理す(五)列國資本歓迎して商業と天然富の發展せしむ(六)外國資本の企業に加入することを許す(七)勞働者を勞働事業及び同業の管理に參與せしむ(八)各勞働組合が自動的行動力の提唱に參與せしむ(九)希望し以て支那の勞働者を保護す

(二)上述の理由、現在環境の大勢に根據し本黨は左の如く主張す

(一)私人財產制度を維持す、但し政府は制限法を設け勞農階級の利益を保護す(二)消費組合、農事生産組織及び無産階級の設立を提唱す(三)國家管理下の私人資本と私人企業を採用す(四)消費組合も亦國家より管理す(五)列國資本歓迎して商業と天然富の發展せしむ(六)外國資本の企業に加入することを許す(七)勞働者を勞働事業及び同業の管理に參與せしむ(八)各勞働組合が自動的行動力の提唱に參與せしむ(九)希望し以て支那の勞働者を保護す

(四)勞農露國は左の如く外蒙政府の成立を援助す

(一)地方行政は民治的執權者統轄し先鋒師及び王公の尊嚴を廢除す(二)重大なる責任を負ふ位置は蒙人が推選充てし貴族を屏絶す(三)蒙古の憲法會議設立を促成し以下の任務を達成せしむ(甲)憲法の起草(乙)勞農階級の利益の注意(丙)外蒙農業者を建立する最直轄機關(四)正式陸軍を組織し勞農露國の宣傳事業を阻止す(五)外蒙政府を援助し反共產黨の組織の特別委員を定め軍事委員會革命委員會を設立し軍事共產主義を教育す(七)小民を保護し貴族に對して嚴正の注意を以て之を規定し法廷を構成しあらゆる人員は推選法によりて充てん(九)勞農教育を勵行し學費を取らざる

(三)外蒙の勞農蒙古共和國建設に關して本黨は左の如く主張す

(一)外蒙の土地、森林、礦産地帯を國有とし(二)共同供せざるを固言す(三)外蒙所有の天然富は私人の財產に變ずるを得ず(四)外蒙所有の礦産地帯は蒙古勞農共和國に歸屬し之を共同開採することを不得(五)外蒙の金銀は勞農工會及び露國労働組合に讓與し之を管理せしむ(六)土地の分配法は勞農露國の法に照らし比例的進歩制を取消し得ず(七)現在、蒙古の土地所有制を取消し現產安易法を採用す(八)私人財產制を保留し以て供給製造せしむ但し壟斷事業と特別權利事業は其内に在らず

(二)上述の理由、現在環境の大勢に根據し本黨は左の如く主張す

(一)私人財產制度を維持す、但し政府は制限法を設け勞農階級の利益を保護す(二)消費組合、農事生産組織及び無産階級の設立を提唱す(三)國家管理下の私人資本と私人企業を採用す(四)消費組合も亦國家より管理す(五)列國資本歓迎して商業と天然富の發展せしむ(六)外國資本の企業に加入することを許す(七)勞働者を勞働事業及び同業の管理に參與せしむ(八)各勞働組合が自動的行動力の提唱に參與せしむ(九)希望し以て支那の勞働者を保護す

段祺瑞を擁立して大總統に擧げ、曹錕を副總統に擧げて始めて時局の收拾となるべしとの見地より、新國民黨を組織すべしと奔走せる策士あり報せられしが、斯かることは竹こ木を接ぐが如き策にして到底實行せらるべきものにあらざるのみならず、曹錕を大總統に擧げて張內閣を成立せしめんとする今日、到底不可能なりと解せられたる、然るに北京通信によれば舊國民黨の計畫ありと報せられたる、右段祺瑞擁立の爲め新國民黨は之に由来したるものにはあらざるか、今舊國民黨結社計畫に關する報道を紹介せば左の如し

彭養光、馮自由、周震麟、王恒惕等舊國民黨の大團結を呼び盛んに同志糾合しつゝあるが、過日北京張勳橋大街新豐樓に兩院議員を招待し席上王用賢、焦易堂、張魯泉等は相繼いで演説して其要旨は

「本黨一系に於ては之を約言せば民黨議員は革命黨より起れり民國二年兩院にて最大多數を占めたるが一時武力派の勢ひ強き議場にての活動力少き爲め遂に目的を達する能はざりしが現在はその時勢變遷議會政治は漸く發展すべし可能性を有し然し小政黨黨林立して真正なる國會の意見を表示する能はず常に少數人の利用に堪へず同人等は此見地より同志を糾合して舊觀の恢復を期す云々

云々」あり而して兩院同志議員に對して左の如き條件を並べ入會を勸告し、

一、凡そ同盟會、國民黨、中華革命黨、中國國民黨に屬する兩院議員にして民黨の主義に顯に背きたる事實なき人は皆なる議員とす

二、民黨議員は團結必要ありが新組織成立以前は暫く北京花柳巷五山東に赴き考察の上歸京する筈なり

各省司法考察の爲め南下せる張耀會は、湖南、湖北、江西、安徽、江蘇各省の司法狀態を考察せるが、各省の狀況は尙ほ佳良に屬するも惟だ財政の困難は各省共有の現象にして擴充せんとするも經濟に掣肘せらるるものなし其中江西、湖南の兩省は屢次改革も亦た少からず惟だ江蘇の財政は各省に比較して幾分餘裕ある爲め司法上の設備も亦た比較的完備せり但し各省の設置は同治年間の洋運派設置衙門に根據せるものなるが第一革命當時會審官たりし諸人が逃去せるより遂に全く外人に全然主持し支那は會審官を有せざるに至り然して是より會審衙門の權限は既に原來、洋運派設置衙門の規定を超過せり民國三政府は主權の喪失甚だしく過ぎざるも各國に向つて交渉し當時の駐支英國公使ジョルダンに英國政府と商議して辦法五條を訂定したるも政府は其内容を何等主權を回復する程のことの無かりし爲め不満を表示し此事は遂に開置されたるに近年に至り政府は主權喪失の過甚が上海人士の要求に應じ既に外交團と收回辦法商議を交渉し外交團に駐滬領事團の報告を待つこととなれるが領事團は二三回會議を開きたる模様なるも其内容如何は未だ知るべからざるに現在の會審衙門は性質上於ては全然支那の法廷にあらず根據上於ては全然支那の規定を超過し居れり國民の收買運動は全く合法行為にして國際友誼上及び支那人の意思尊重の點より言へば各國も又た宜しく支那の要求を承諾すべきなり云々張耀會は今十八日杭州に赴き上海に赴きたる上山東に赴き考察の上歸京する筈なり

舊民黨聯合計畫

張耀會の法權回收談

三、各省同志は之に就くか或は本人にて直接に接洽されし

現代支那史的考察

西本白川先生著

定價貳圓八十仙

總たろす四六判

「道は真なるが故に常に新しい」とは著者が東洋儒教十字軍の急先鋒として擧げたる警世の叫びである。此書は著者が大道に立脚し博覽によりて得たる鋭き洞察と、廿數年間支那に在りて得たる深き體驗より進んできたる眼を以て支那思想の由つて出づる處を示し、更に四千年文化の史實を採り、複雑なる現代支那の經緯を立體的に批判し、現代より將來に及ぼしたる最も正しき支那の解釋である。此書の教ゆる所に從つて初めて支那に對する正當なる批判をなし得べく初めて大本を樹立し得る事を信するが同時に、著者が常に變らざる眞摯なる學究的態度に依つて、萬人の爲めに上梓せられたる文獻として江湖に推薦するを俾らぬ。

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育

資本金 五千萬圓

上海九江路貳號

株式三井銀行

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育

資本金 壹億圓

上海九江路四號

株式三井銀行

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育

資本金 六千萬圓

上海九江路四號

株式三井銀行

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育

資本金 六千萬圓

上海九江路四號

株式三井銀行

支店 東京 丸之内 深川 日本橋 大阪 中之島 船場 神戸 三宮 京都 都名古屋 小樽 倫敦 紐育



社

用を喪ふものなりとて料金引上げ全章、責任之の二人を二十日出發北上...

護軍使の電政問題 何松瀝 護軍使は江蘇電政監督沈維新及び上海海軍電報局長羅肇慶に對し本年十一月交通部は電政監督を取消し上海電報局長を裁撤し總辦を改設の當り...

沿岸航路支那汽船 本年夏以來沿岸航路の支那汽船會社組織の發達し通海線、温州線、崇海線に新汽船永興を増加し本月二十日就航せしむべし...

施基聲の政治關係 華府會社 九日夜上海發表社駐米公使施基聲は或人に對し目下時局困難なれば何人が閣内の事情に熟通する者が政府の事に無し且つ明年秋北京に於て開かるべし...

伊藤商行 上海博物院路十八號 電話 三〇〇九三 支店及ビ出張所 漢口、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京...

時局滬聞

郵電料引上反對運動 郵電料引上げ反對運動 上海總商會は郵電料引上げ取消しを催促する爲め...

文苑 其廿六 太 堂 玄微升開明定奇。力行一視險如夷。...

高標登錄分處近情 北京農商部は商標登錄分處を設置する爲め...

施基聲の政治關係 華府會社 九日夜上海發表社駐米公使施基聲は或人に對し目下時局困難なれば何人が閣内の事情に熟通する者が政府の事に無し且つ明年秋北京に於て開かるべし...

伊藤商行 上海博物院路十八號 電話 三〇〇九三 支店及ビ出張所 漢口、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京...

上海報界の反對案 浙江省に於ては郵便、電報料金引上げは督辦盧永祥の命により取消されたるを以て...

天津に四百萬輸送 今回上海より天津へ輸送する現銀二百萬元は十五日出航の答なる怡和洋行汽船...

米國の支那人排斥 米國船局の命令による太平洋航路の各郵船花旗公司の乗船既路船提提て福建を據拠せしむるに...

福建同鄉會の通電 福州林省長鑾、廣東李厚基援助に籍りて福建を據拠せしむるに...

日本綿花株式會社 上海漢口路八號 電話 八七七一 支店及ビ出張所 大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貴カラチ、緬育、堡部、シヤトル、ブエノスアイレス、ハートル、漢堡、ソドニー、スラバヤ...

其七 寒意須知征雁悲。燈前推爐未題詩。...

滬滬護軍使撤廢說 軍界の消息に據れば滬滬護軍使の職は撤廢せらるべしと眞實なるや否や不明なり...

米國の支那人排斥 米國船局の命令による太平洋航路の各郵船花旗公司の乗船既路船提提て福建を據拠せしむるに...

福建同鄉會の通電 福州林省長鑾、廣東李厚基援助に籍りて福建を據拠せしむるに...

日本綿花株式會社 上海漢口路八號 電話 八七七一 支店及ビ出張所 大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貴カラチ、緬育、堡部、シヤトル、ブエノスアイレス、ハートル、漢堡、ソドニー、スラバヤ...

其八 不將終夜衆生肌。請看世路薄如此。未必閑窓漏楚辭。...

天津に四百萬輸送 今回上海より天津へ輸送する現銀二百萬元は十五日出航の答なる怡和洋行汽船...

米國の支那人排斥 米國船局の命令による太平洋航路の各郵船花旗公司の乗船既路船提提て福建を據拠せしむるに...

福建同鄉會の通電 福州林省長鑾、廣東李厚基援助に籍りて福建を據拠せしむるに...

日本綿花株式會社 上海漢口路八號 電話 八七七一 支店及ビ出張所 大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貴カラチ、緬育、堡部、シヤトル、ブエノスアイレス、ハートル、漢堡、ソドニー、スラバヤ...

江蘇教育界の反對 江蘇省教育會は郵便電報料金の引上げに對しては公意に叶ひ外に對しては更に國際信...

山鐵民有公司組織 上海籌備鐵路委員會、山東鐵道は十二年一月一日日本政府より支那に引渡さるべからずとて二十日開會の上余日...

廣東省と關稅餘款 在上海廣東自治會は十五日廣東沙面の英國總領事に對し新聞の報する所によ...

福建同鄉會の通電 福州林省長鑾、廣東李厚基援助に籍りて福建を據拠せしむるに...

日本綿花株式會社 上海漢口路八號 電話 八七七一 支店及ビ出張所 大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貴カラチ、緬育、堡部、シヤトル、ブエノスアイレス、ハートル、漢堡、ソドニー、スラバヤ...

▲支那紡績產額減少 本埠各支那人紡績業者は會合の上本月十八日より紡績工作の一分を短縮し向ふ三ヶ月間の市場を見ることに決定せるが、交渉の結果米國公使の回答に據れば、十二月會合の上更に四分の一を短縮するに決定せりと云ふ。

▲高恩洪の排斥猛烈 上海電料處人員羅健倫、劉慈亭等は前交通總長高恩洪の電株買入れ不正事件、電報局官金着服事件等の十三件を擧げ高を處分せしむとの通電を發したる。

▲砲艦海鷹竣工 海軍部は前年上海江南造船所に砲艦海鷹一隻の建造を注文し、既に竣工せるを以て海軍 司令公署輪機課長員翁炳貴が受取者として之を受取りたり。

▲張若若の渡歐視察 歐米視察實業使張若若は奉令後農商部に至りて一切の事務整理終了たるを以て十七日晚鐵路來滬し、二十日朝早南京に赴きたるが近日中渡歐の途に上るべしと。

經濟

支那各地及 上海經濟界

獨支貿易の狀況

獨支兩國間の貿易狀態は漸次恢復しつつあり目下上海に於ける獨支貿易は三十に於て明年は更に増加せしむに精確なる調査によれば一九二一年獨支より支那に輸れたる主要商品は染料、機械、毛織物、紙類等にして總額約一千〇八十八萬三千一百八十七兩にて前年比し五百七十餘萬兩増加せり支那より獨支への輸出品は蛋白質桐油等て四百六十三萬九千九百十四兩にて前年より三百餘萬兩を増加せり。

米國の支那肉禁止

上海總商會は米國政府が支那より肉類輸入を禁止したるは支那の對

外貿易を阻碍するものなりとし農商部を経て外交司對して米國公使と同様の特定期限の取消し方を交渉する様要求したるが總商會は十九日農商部より同條例は専ら不衛生の肉類の輸入を取締るが爲めに於て將來支那の國家檢查機關の設立と檢查條例の安定を旨に後して禁止を取消する筈なる旨に回答せりと云ふ。

水電廠案解決内容

年來の懸案たりし開北水電問題は愈々省議會に議決されたるが省議會の議決せる所のものは現在の開北水電廠を改めて開北水電公司とし省商會辦として現在の廠産を省株とし別に商株を募集し内部の事務は董事會を組織して數人を推選し省政府より委任するものなり開北五路商聯合會は水電廠問題解決せるため十八日各都職員を招集して臨時會議を開き傳單を發して各商店に三日間國旗を掲揚すべきことを通告し又た南京に赴ける代表團が回滬する時は各路市民は停車場に赴きて歓迎することを議決せり。

安徽小洋鑄私事件

廣東省小洋排斥の原因、安徽省造廠廠長江澤春は本埠某銀行と私訂合同で廣東省様の銀小洋を私鑄せりとの説最近喧傳せし居るが茲に又同省人は頗る憤慨し居るを以て安徽省小洋は安徽省用利濟小洋船廠に由り南京より上海に運送し上海某銀行之れを接收せり傳はるを以て銀行之れを發して上海金融の一種の惡質私鑄事件を發して此種の惡質私鑄事件を發して上海金融界を擾亂することを駭駭にとし且つ激越なる文句を列べたる江澤春罪狀を陳述書を各當局監理局に呈書せり云々尙向市當富小洋を顯る警戒し居れり。

南市各米商の會議

南市各米商は十七日集議を開き近來各面より米の到着少なく市價騰貴するが其原因は蘇州、松江、青浦角里等の各處にて米の買占をなす者

あるが爲めなれば今年の冬間は買占めをなすべからざることを決議し此旨を同業各行に通知したり。

▲游民工廠債券不許可 農商部は上海に於ける游民工廠債券發行に就きて松滬護軍使に對し禁令を以て獎券の發行を禁止し以後債券と變名して許可を請ふ者あるも悉く却下せり游民工廠債券は許可する能はずと通告したり。

金融市況

自十二月十五日上海の金融 及外國爲替

金銀 輸出入支那各地共稱て四割、北支那向 弗銀流出二萬弗、南支那向弗銀流出二萬二兩九角、天津、杭州の造幣局への兩銀移出亦多し且つ外國銀行手續費過迫のため銀幣利息週初年五分五厘より週末一割に暴騰

銀幣移入 七萬九千兩 銀塊 英國より 三十九萬弗 弗銀 杭州より 三十九萬六千兩 銀塊 杭州より 二十二萬八千兩 孟買より 百八十八萬兩 同 漢口より 四十五萬兩 同 天津 三十五萬兩 弗銀 芝罘 三十五萬兩 同 濟南 三十五萬兩 同 長春 五十萬兩 同 漢口 五十萬兩 同 漢口

銀幣移入 出 三十九萬六千兩 銀塊 杭州より 二十二萬八千兩 孟買より 百八十八萬兩 同 漢口より 四十五萬兩 同 天津 三十五萬兩 弗銀 芝罘 三十五萬兩 同 濟南 三十五萬兩 同 長春 五十萬兩 同 漢口 五十萬兩

上海稅關各國貨幣 換算率 (十一月廿一日)

式磅 海關兩 二 海關兩 金圓 二〇 二

海關兩 一兩 海關兩 一兩 二〇 二

前週中郵便局銀相場 (金壹圓に付)

十一月十五日(金) 銀 〇.九五〇

十一月十六日(土) 〇.九五〇

十一月十七日(日) 〇.九五〇

十一月十八日(月) 〇.九五〇

十一月十九日(火) 〇.九五〇

十一月二十日(水) 〇.九五〇

十一月廿一日(木) 〇.九五〇

編輯餘錄

▲大正一年の本紙もこの號で終りとなつた。承らるの問讀者諸君の御禮に於て青果れが、來るべき大正十二年は本紙の十週年紀念である、そこで發報一番大に面目を一新して活動したいと思ふ、それで茲變更なく愛された本紙に對して更に御愛下さる事を願ふものである。

▲此れから餘録子と題の改造をしてドックでもウでも懸命の努力を盡し度いと思ふ、そして今まで以上に皆さんから體裁を受けて面目を上げたいのである。(學)

▲伊賀上雄風内社中江南の各邑を探る可し 連重伯と共に七日博愛丸來滬

▲伊勢政太郎氏大阪日本エメナル合社重役外 重役三氏と共に同船にて來滬する

▲田村總領事事務官松隈廣吉氏書記と共に漢口より風船丸にて來滬し、ホテルに投宿する

▲秋野田記官同日滬寧鐵路に蘇州へ

▲志田田記官同日滬寧鐵路に蘇州へ

▲志田田記官同日滬寧鐵路に蘇州へ

▲志田田記官同日滬寧鐵路に蘇州へ

▲志田田記官同日滬寧鐵路に蘇州へ

▲朝鮮總督府 賣買局所管

高麗參丸

●人參精粹

●使用に至便

●携帯に至便

▲本劑は 朝鮮人參のエキスに其の粉末を混和製せり

●其形細粒然も 効力頗る強大

●事務家、旅行者 日常の携帯、使用に良し

▲大瓶 百粒入(六日分) 大洋七角

▲小瓶 五十粒入(三日分) 大洋四角

▲到る處の有名藥店に販賣す

(大物質)

!! 電氣の御用は ノース二〇六 五へ!!

一般電料器具の良質にして 且つ新設修繕の迅速と工費廉なるを望む御方は是非敝行へ御用命願ひます

場所の遠近に拘らず御通知次第即時御伺ひ致します

電燈店燈取付扇風器 請買 並に一般電料工事 請買

上海北四川路三二二號

三泰洋行

電話北二〇六五

株式東亞公司

上海河南路八號

諸藥品、織機 絹綿布、雜貨 出入貿易

電話中央 一七三四 四一二六

本店 東京 支店 大阪

資本金 貳千萬圓

營業 各種事業ノ調査設計 及引受各種事業ニ對スル直接間接投資

東亞興業株式會社

上海出張所

本社 東京市麴町區八重洲一丁目 一番地

出張所 北京、漢口、上海

上海九江路第五號 電話中一九九五番

日清汽船株式會社

上海出帆
上海支店
電話 浦東棧橋ヨリ發
南陽丸 郵船棧橋ヨリ發
鳳陽丸 郵船棧橋ヨリ發
瑞陽丸 浦東棧橋ヨリ發
大福丸 浦東棧橋ヨリ發

本日の新聞は至誠堂!!

大阪毎日新聞 三月六日
東京朝日新聞 三月六日
上海新聞 三月六日
南滿洲鐵道株式會社
本社大連市東公園町
支社東京市麹町區有樂町

東亞聯絡最捷交通線

大連長春間普通列車
大連發前 一〇、三〇、四〇、五〇、六〇、七〇、八〇、九〇、一〇〇
長春發前 一〇、四〇、五〇、六〇、七〇、八〇、九〇、一〇〇
大連開原間普通列車
大連發前 八、二〇、三〇、四〇、五〇、六〇、七〇、八〇、九〇、一〇〇
開原發前 八、一〇、二〇、三〇、四〇、五〇、六〇、七〇、八〇、九〇、一〇〇

南滿洲鐵道株式會社

營業種目
鐵道業、船舶業、港灣業、鑛山業、工業、製鐵業、電氣業、瓦斯業、旅館業

株式會社公興鐵廠

營業種目
紡績器械類專門
其他一般鐵工業
第一工場 上海楊樹浦路三二七二號
第二工場 上海滄州路七〇〇號



消化と仁丹
活動に仁丹
食後に仁丹
煙草に仁丹

池田桃川著 續上海百話

上海に於ける日支人各方面の趣味ある語を集めたるもの社會研究の資料ともなる外史ともなる屑の凝らぬ物語りである
◎刺客の果て ◎國慶介と英翁 ◎陳其美の横死 ◎曹紅帶 ◎滬田進査 ◎新婚の驚き ◎張孟介 ◎曹連開 ◎北四川路の慘事 ◎誘拐 ◎客死せる革命家 ◎上海の新聞婦 ◎ある洋妾 ◎眞珠を盗む ◎虐殺された二人

日本堂書店

和洋家具類
室内裝飾品類
書畫骨董類
諸物貨賣仲次
電機器具及工事
上海便利社

紫檀 細工専門 一割洋行

主佐々木正夫
工場 振替口津東路三二七〇番
上海慈修路中里十號

國產獎勵
敷 四萬本 貳拾三仙
朝 二十本 拾三仙
白 二百本 拾八拾五仙
梅 四十本 拾八拾四仙
四〇〇本 拾八拾五仙
四〇〇本 拾八拾五仙
四〇〇本 拾八拾五仙

特約店
松尾洋行
山口商店
電話北三〇五番

發行所 春
電話北一三〇三
振替福岡四七〇五番